



しかべ

第 3 号

2000年 11月

議会だより



しかべ海と温泉のまつり『カッター競漕』

- ◆ 第3回定例会の概要 (2)
- ◆ 一般質問 (3) ~ (7)
- ◆ 委員会の活動 (8) ~ (9)
- ◆ 意見書提出 (9)

発行／鹿部町議会

編集／鹿部町議会だより編集特別委員会

〒041-1498 北海道茅部郡鹿部町字宮浜299番地 TEL 01372-7-2111 (内線24、76) FAX 01372-7-3086

平成12年 第3回定例会

平成12年第3回定例会は、9月19日に招集され、会期を3日間と決め、町長の行政報告のあと、5名の議員が10項目にわたり一般質問を行いました。

また、第3回定例会では、各会計補正予算、条例等議案3件、同意案2件、認定4件、意見案1件を審議し、全て原案どおり可決し、会期を1日残して閉会しました。

尚、審議された議案の主な内容は、次のとおりです。

条 例

△鹿部町名誉町民条例の一部

を改正する条例制定

名誉町民の推挙に関する基準を一部改正した。

△鹿部町手数料徴収条例の一部

部を改正する条例

地籍調査事業の進行により、地籍事項の閲覧並びに証明書の交付が十一月頃より可能となったことにより、その手数料を徴収することとした。

△鹿部町営住宅管理条例の一部

部を改正する条例

公営住宅法施行令の改正により町条例の一部を改正するものであり、内容は、在宅介護体制の充実を図るため、常時介護を必要とする老人、身体障害者等、町営住宅においても必要な介護を受けることができる、単身入居が可能となるとともに、特定扶養親族と特別障害者の控除額が引き上げとなった。

補 正 予 算

△一般会計

歳入歳出それぞれ八千二百二十四万六千円を追加し、予算総額を三十六億四千六百四十三万六千円とした。

今回の補正は、主として間

歇泉公園駐車場拡張及び景観環境緊急整備事業、心身障害者の更正医療給付、児童手当制度改正等による追加補正外です。

△国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ百三十七万円を追加し、予算総額を五億八千八百三十万円とした。

内容は、社会保険診療報酬支払基金への平成十一年度退職者医療交付金の清算に伴う償還金の追加補正です。

△介護保険事業特別会計

歳入歳出それぞれ二十万三千円を追加し、予算総額を一億八千二百五十八万九千円とした。

内容は、介護支援専門員資格取得費外の追加補正です。

△水道事業会計

資本的支出に百九十三万七千円を追加し、資本的支出の総額を六千二百二十五万九千円とした。

内容は、配水管の移設工事による追加補正です。

人 事

△教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員の任期満了により、吉康郎氏を再度任命することに同意しました。

氏名Ⅱ吉 康郎氏

住所Ⅱ字鹿部四十九番地の一

△固定資産評価審査委員会委員の選任同意

固定資産評価審査委員会委員に新たに小笠原功氏を選任することに同意しました。

氏名Ⅱ小笠原功氏

住所Ⅱ字本別三百十四番地の一

決 算 認 定

△一般会計

△国民健康保険事業勘定特別会計

△老人保健特別会計

△水道事業会計

平成十一年度一般会計及び三特別会計の決算認定については、本会議初日に議員全員で構成する決算審査特別委員会が設置され、委員長に大沢喜代治氏、副委員長に竹ヶ原公勝氏を決め、翌十四日に特別委員会を開催し、慎重に審査した結果、一般会計及び三特別会計は、いずれも認定すべきものと決定され、同日開催の本会議において、委員長報告がなされ、全員異議なく認定された。



決算審査特別委員会

一 般 質 問

第3回定例会での一般質問は、5名の議員から10件の事項について質問がありました。

質問、答弁の趣旨をまとめ、項目順に紹介します。

函館バス鹿部駅路線の運行について



笠原 賢 議員

鹿部駅からのバス利用者が一日五十名前後と聞いておりますが、その中で学生の利用者は十五名程で、大半は父兄の自家用車にて送り迎えをしている現状であります。

そのため、自動車事故も何件かあるように聞いております。バスが運行しているのに、なぜバスを利用しないのかと思つて、利用者に聞いたところ、バス代が高いということでありませう。

バス会社においても、利用者が少なく、このままであれば、近い将来、廃止路線になるのでは、ということですよ。

また本社からも見直しについて指導があると聞いております。もし廃止路線になれば、

我が町の発展にも影響があると思ひますので、この対策についての理事者の考えを伺ひたい。

今後も運行助成措置を継続し、運行維持を図る

【相澤二三男 町長】

質問の趣旨は、函館バスの鹿部駅線が利用者が少なく、近い将来、路線が廃止されるのではないかと危機感を持たれてのご質問だろうと思ひますが、ご承知のように鹿部駅線については、ご意見のとおりバス料金が安いということとでバスを利用しないで父兄の自家用車で送り迎えされておひ、何件か事故が発生してありますことも承知してござひます。中央の動きとしては、乗合バス事業の規制廃止法案が平成十三年二月に国会に提出されることになっておひ、これに伴ひ、乗合バスの需給調整規制も平成十三年度までに廃止され、自由競争となり、

都市部に集中し、利益の見込めない路線については撤退する業者もあるやに聞いておひます。地域におひの乗合バスは通勤通学等におひ重要な足であることから、国・道に對しても、赤字路線を運行されておひますバス事業者に對しての支援要請も行つておひ、町としても、現在まで赤字生活路線の運行助成措置を講じてきておひますので、今後も継続して運行維持を図り、町民の重要な足の確保に努めて参りたい。



鹿部駅線を運行する函館バス

町民から強い要望がある保育所の設置を

保育所の設置については以前にも伺ひましたが、現在でも町民より強い要望があります。漁業者の世帯では、これから、スケソウ漁、ホタテ漁等、多忙な時期に入ります。

そこで母親が安心して幼児をまかせられ、家業に従事出来る施設が欲しいとの要望がありますので、町理事者の考えを伺ひたい。

アンケート調査を実施し検討材料とする

【相澤二三男 町長】

国では、昨年、児童福祉法の改正を行い、広域保育が可能となり、現在六、七名の幼児が利用されておひ、入所されている幼児の保育料は、四十六人から六十人までで、年齢により、月額は十六万一千八百七十円～五万二千八百七十円となつておひ、本人負担



しかべ幼稚園

分は、所得税課税状況により七階層区分されておりまして、九千九百円〜四万一千五百円を負担しておりますが、公立保育所、私立保育所、または定員区分により保育料本人負担分に違いがございます。保育所設置については、設置基準がありまして、保育定員数による基準面積、設備整備、職員定数など常設保育、季節保育と、それぞれの設置形態により国の許可が必要となっております。近隣町村の保育所運営について調査しましたところ、これは森町でありまして、これは森町でありまして、十五人までの施設での概算でございますが、収入三千二百五十万円、支出四千八百四十万円となっております、単

純に一千五百九十万円の赤字となっている状況にあります。また、管内の町民をみても、人口の多い町村を除いて、幼稚園を設置しているところは、保育所は設置していないのが現状であります。当町も幼稚園の延長保育、三歳児保育を検討することによって、この保育所というものに対しての緩和策と言いますか、そういうことを考えていくことが賢明かなとは思っております。保育所の設置については、常設保育、季節保育所を含めてかなり難しいわけでございますが、本人負担も高額になる状況にあると考えますが、町民からも強い要望があることは承知しておりますので、今年度において、現在の幼稚園での二年保育を二年保育に、幼稚園の時間延長保育、他町村と同じ保育所、季節保育所、託児所、保育料金など含めて、アンケート調査を実施して町民の方々の意見を聞き、分析し、検討材料にさせていただきます、これからどうするかの方

やすらぎの里の消防体制について



竹ヶ原公勝 議員

今現在、鹿部消防署には二台の消防車があり、ポンプ車一台、水槽付き車両が一台、二トン積がありますが、先般の宝光寺の火災の時に、水利の状態が悪く、砂原消防署の応援を要請、本堂は火災から免れたが、母屋は全焼し、初期消火の重要性をあらためて感じた訳であります。

また、今回、本別地区にあります、やすらぎの里を火災想定し、鹿部消防署、鹿部消防団合同で訓練を行いました。一部地区の水利の状況がまったく悪く、もし実際に火災が発生したとするならば、どのような対応をするのか、理事者の考えを伺いたい。

継続放水可能な水利から消防車両で中継を取らせる

【相澤三男 町長】

ロイヤルシティー鹿部リゾート分譲地内の建物は、近年、非常に増加してございまして、本年六月一日現在で、建物三十二戸、居住棟、いわゆる住民登録をして居住している棟が一二九戸、人口に致しまして二七〇人となっております。

当地域を想定して、火災防衛訓練は過去において一度も実施してございませんが、鹿部消防署で水利の位置及び建物が把握できる図面を作成し、消防団車両五台に積載しております。実放水については、水圧計による検査を行ってございまして、消防車による放水は実施しておりません。消防団幹部より、分譲地内の水利と建物及び進入路の把握を実施したいとの要請があり、去る八月二十八日に、当地区

を想定し、生活用水として最も使用の少ない時間帯を確認し、午後二時より午後四時ま



消火訓練

での間で、消防団車両四台、消防署車両一台で、出勤時間を要請し、四基の消火栓を目標に、一台ずつの水利部署及び放水訓練を実施しております。現在、当地区の水利は、消火栓二十七基、防火水槽十八基が設置されており、今回の訓練で実放水できる消火栓は八基であることが判明されております。また本管の太さは、地域によって、五〇ミリ、一〇〇ミリ、一五〇ミリと、三種類となっております、一〇〇ミリ以上の本管に設置されている消火栓は継続放水が可能であります。水利事情の悪い広範囲な地域での防御活動について、消防署では比較

噴火発生後の住民周知が遅い

九月四日、午後十時十五分頃、駒ヶ岳噴火との情報があり、午後十一時頃、テレビ等によって報道され、町内外より問い合わせが殺到したと聞いております。町内の住民に周知する防災無線が流れたのが午前零時三十五分であります。

噴火発生から、二時間以上も住民に周知出来なかった理由は何か、町理事者に伺いたい。

早期周知について検討する

【相澤二三男 町長】

九月四日深夜に発生致しました駒ヶ岳の水蒸気爆発による小噴火で、噴火発生から二時間以上も住民に周知できなかった理由は何かというご質問でございますが、実質的には、札幌管区気象台から二十時五十九分に臨時火山情報

が出され、二十二時十四分頃から火山性微動が観測されいますが、夜間のため噴煙の確認は出来ません。場合によっては、噴火が発生した可能性があり、現在、気象台で降灰の有無について聞き取り調査を行っています。調査の結果は分かり次第お知らせします、という緊急情報が入っているとの報告を受けました。一刻も早くの思いで役場に出動し、早速、課長補佐以上の職員を招集して、的確な陣頭指揮をとり、まず、別方面に派遣して、あらゆる情報収集に全力で目と耳と傾けたのであります。しかし、テレビで噴火したのではないかという情報を裏付ける降灰の確認情報は皆無で、また、函館土木現業所が当町役場に設置しております遠赤外線テレビカメラに写し出された駒ヶ岳は、水蒸気による噴煙が少し多いかなという状況が続いており、暗闇からの撮影のためか噴火しているという状態ではありませんでした。しかしながら、噴火につながる

火山性微動が観測されての火山情報が出ているわけでございますから、当然、私の頭からは町民への周知をいち早く行いたいとの思いは強くありましたが、その後の臨時火山情報が多量に入ってきた。あくまでも深夜であるがゆえに逆に混乱を起したりはしないか等を考えたのであります。このような当日の状況から考え、午前零時二十分に防災無線で、「町民の皆様は深夜ですが、火山情報をお知らせ致します。駒ヶ岳が噴煙も普段より多い状況となっておりますが、まだ噴火したとの情報は入っておりません。新しい火山情報が入りましたら、周知致しますので今後の火山情報に注意して下さい」という内容の慎重な放送を致しました。結果として、火山情報を受けてから町民に周知するまで、実質的に一時間二十分を要したのであります、反省の上に立つて検討を加えて参りたい。

幼稚園、小学校の駐車場拡張整備計画



大沢喜代治 議員

幼稚園、小学校の駐車場が非常に狭く、これらの施設で行事があるごとに、父母並びに関係者が非常に不便を感じております。今後、これらについて拡張整備する計画があるか伺いたい。

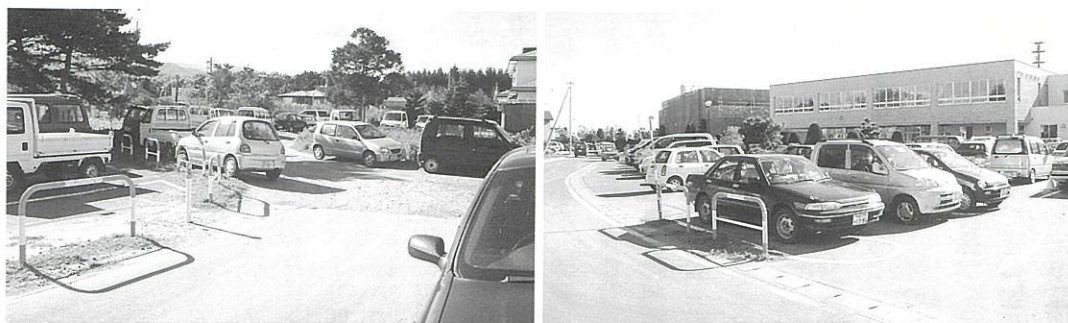
宮浜団地の跡地利用も含めて将来的な課題

【相澤二三男 町長】

質問の趣旨は、幼稚園、小学校駐車場が狭いので、拡張整備工事をする計画があるのかとのご質問でございます。車社会の進展によって、幼稚園、小学校ともに、行事等の場合には、駐車場が狭く、支

障を来していることは事実でございます。幼稚園においては、特別な大会及び行事等については、総合体育館の駐車場を使用することとしてございますが、通常は公民館駐車場を利用して現在の現状から、近くに公共用地もなく駐車場を確保することは厳しい状況でございます。また、小学校においては校舎表面にある駐車場と交通公園を利用してありますが、校内行事が行われる場合は、学校敷地に隣接する町有地がございますので、この土地を使用しております。ただ、この土地については、現在、民間に貸付してございまして、校舎行事等が行われる場合について、解放していただき、駐車場として利用しております。小学校校舎前は、少し狭隘で駐車場として整備できるような用地がございませんので、父母等の送り迎えで渋滞も見受けられますが、今後の課題として、検討することにして、当面、車の流れを確保する対策を考えて参りたいと思っております。平成

十三年度より取り壊しの計画を進めております公営住宅宮浜団地の跡地利用については、幼稚園という施設を含めて、将来の課題としていかなければならないと考えております。



父兄の車で混雑する駐車場

今後の漁業振興をどう考えるか



佐藤頼幸 議員

鹿部町は漁業の町というところで、漁業振興には、相当、力を入れていると思うが、年々、事業費が減ってきていると思います。今後の漁業振興についての考えを伺いたい。

漁業協同組合と連携をとり、効果的な事業の推進に努める

【相澤二三男 町長】

質問の趣旨は、漁業振興に対する事業費が減ってきているというのが一点目で、二点目は今後の漁業振興について、どのように考えているのかという、二点のご質問かと思いますが、まず、一点目につい

てですが、平成八年度から今年度計画分までの漁業振興事業について申し上げますと、漁業振興計画に基づく事業、例えば、沿岸漁場整備開発事業、沿岸漁業漁村振興構造改善事業等、漁場整備関係事業は、総事業費が多額なため、事業のある年とない年で事業費負担が大幅に変動致しますので、その年として、浮き沈みがあることは確かでございます。数年来の実績をみますと、漁業基盤整備事業では、漁業系廃棄物関係、漁港の修築負担金の増額により事業量、事業費ともに増えてございます。二点目につきましては、いずれに致しましても、漁業協同組合と緊密なる連携のもと、また、毎年実施してございます漁業振興合同会議において、意見の交換等充分協議を願い、それらを基に事業効果のある事業の推進に努めて参りたい。

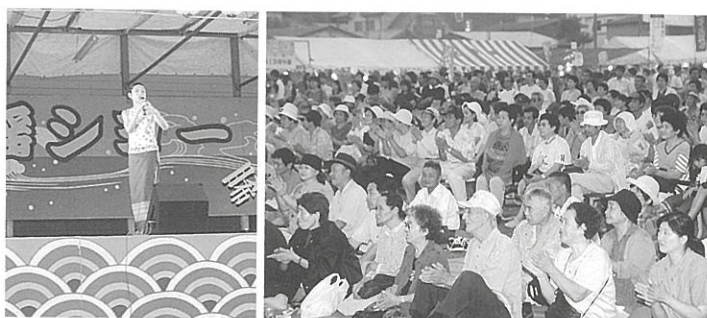
鹿部町は観光事業に力を入れていと思うが、今後、何を重点に町内外へアピールしていくのか、伺いたい。

間歇泉公園を観光の拠点施設にする

【相澤二三男 町長】

質問の趣旨は、鹿部町の何を町内外へアピールしていくのかとのご質問でございますが、当町の基幹産業である漁業の不振により経済の低迷が続いている昨今、観光事業は極めて重要な産業として観光資源の整備を進めておるところでございます。このようなことから、例年開催しております、しかべ海と温泉のまつりを最大イベントとして、今後とも開催して参りますが、観光の拠点施設として昨年オープンしました、しかべ間歇泉公園、駐車場等を、観光客の

観光事業の重点は何か



しかべ海と温泉のまつり

ニーズにあった整備を、更に進め、充実した観光施設として町内外に宣伝し、また、マスコミ等にご協力を得ながら町内外へアピールし集客を図って参りたい。

施設の委託管理について

(議会だより編集要領により三問以上の質問のため内容省略)

出来潤漁港のホタテ付 着物置き場について



伊藤辰男 議員

以前、漁港整備促進協議会の時に、出来潤漁港のホタテ付着物置き場の設置について理事者にお伺いしたことがあります。その時に、理事者は設置について検討してみますと答えておりますが、その件に関し、漁業協同組合と協議がなされているのか、また、今後どのような考えをもっているのか伺いたい。

漁業振興合同会議で協議する

【相澤二三男 町長】

質問の趣旨は、出来潤漁港に付着物の一時堆積場所の設置について、漁協と協議がなされているのかどうかと、ま

た、今後どのような考えをもっているのかということでございますが、まず、漁協との協議でございますが、事務段階では協議はさせていただきます。出来潤漁港の利用計画では、養殖用作業施設用地が確保されてございまして、占用許可の手續きをとるだけで施設の設置が可能であるか確認させておりますが、場所等の適否、施設の規模などの詳細については、これから漁業と地元利用者、ホタテ部会との協議がなされ、統一された意見が漁業振興合同会議に反映されるものと考えております。

出来潤地区に町営住宅を 建設する予定はあるか

出来潤漁港も整備され、また、ひょうたん沼公園も整備され、環境的にも良くなったと思いますが、出来潤地区の住宅が年数もかなり経っており、老朽化していると思えます。それでも何件が離れられず入居しています。これから

出来潤地区の住宅に関し、どのような計画なのか、もしも解体するならば、これから一棟でも新たに建設する考えがあるのか、伺いたい。

平成二十一年に二棟建設予定

【相澤二三男 町長】

鹿部町の町営住宅の将来計画となります平成七年度に策定致しました再生マスタープランに基づき、現在の管理戸数二五八戸を平成二十七年までに一八〇戸とする計画はご承知のことと存じます。ご質問の出来潤団地ですが、昭和四十五年から四十六年に四棟十六戸を建設し、現在までの経過年数も三十年を過ぎてございます。入居状況は、三世帯で、四棟のうち二棟は完全に空き家となっております。空き家の状況は極めて悪く、入居するためには多額の補修費が必要な状況でございますが、出来潤団地への入居希望及び入居申し込みは現在ござ

いません。ご質問にございます出来潤地区の町営住宅の建築計画ですが、再生マスタープランでは平成二十一年に、現在の四棟を二棟に減少させて建て替える計画としております。ご指摘のとおり、老朽化した住宅は環境的にも良くありませんが、再生マスタープラン計画の変更となることから、取り壊しが可能かどうか渡島支庁とも相談し、可能であれば取り壊す考えで進めたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。



老朽化した出来潤団地

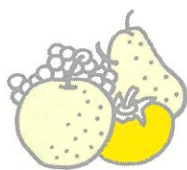
第五回臨時会

第五回臨時会は、十月十二日開催され、平成二十年度一般会計補正予算専決処分報告一件と、渡島廃棄物処理広域連合議会議員の選出を行い閉会した。

△平成二十年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告
駒ヶ岳小噴火に伴う人件費、備品等の購入経費を補正した。

△渡島廃棄物処理広域連合議会議員の選出

渡島十三町による広域連合の設立により、議会が組織され、各町村議会より議員二名をそれぞれ選出することとなり、当町議会では、佐藤友一議員、千葉光義議員の二名が選出された。



委員の活動

総務経済常任委員会

所管事務調査

一、町有財産の管理

【調査の概要】

携帯電話用電気通信交換所建設のための用地として、貸付希望があった宇大岩百六十八番地内の土地について、貸付することが適当であるか、調査を行った。

【調査の結果】

貸付希望のあった土地は、保安林と海浜地であり、基本的に行政財産である保安林は貸付できないことになっているが、政令で定める用途に供するのであれば貸付できる。貸付を希望している会社はこの条件を満たしており、この土地は将来的にも利用計画がないことから、貸付については問題がないという結論に達した。

民生文教常任委員会

所管事務調査

一、中学校、小学校、幼稚園の改修工事の進捗状況

【調査の概要】

各学校工事の状況は、小学校については、未完了箇所を残すものの、中学校、幼稚園については一部を残しほぼ完了している。授業に支障がないよう、夏休み中におおよそ

の工事を終了するよう施行した。

中学校は、屋体の外部改修、内部の電動カーテンの取付、特別教室の改修外である。

小学校は、外部を中心とした大規模な工事であり校舎及び屋体の外壁改修、屋上の防水改修工事、トイレの改修工事外である。

【調査の結果】

工事については、各学校とも授業に支障がないよう順調に進んでいるようであるが、幼稚園、中学校については、築後二十年経過しており、ま

だ改修すべき箇所があると思われる。

今後は、各学校とも大規模な改修の前に、年次計画により計画的な改修、補修をすべきである。

二、旧宮浜一般廃棄物処分場周辺の環境整備調査

【調査の概要】

この旧処分場は、字本別に建設され、本年四月から供用開始されたのにあわせ、三月末に閉鎖された施設であり、閉鎖された後の環境整備の状況を調査したものである。

現在は、ゴミの散乱防止のため、一時的に土を覆った状態である。

最終的には整地し、植樹をする予定であるが、処分場跡地と周辺民有地との境界に段差があるため民地を含めて整地しなければならない。

しかしその民地は、北電が借りて高圧線を設置しており一部に立木が生い茂り北電でその立木を処理するまでは、整備できない状況である。

【調査の結果】

北電の件が解決後、整備に着手することです了承した。十分な環境整備に努められたい。



幼稚園玄関改修工事



中学校 S F 教室改修工事



小学校屋体外壁改修工事

三、ホタテ付着物一時堆積場所跡地の状況について

【調査の概要】

ホタテ付着物処理については、苫小牧の業者へ委託しており、苫小牧へ搬送する際の一次的な堆積場所とした町有地（字本別）の使用後の状況について調査した。

【調査の結果】

町有地は、元どおり整備されておられ、今後の利用に支障のないものと思われる。今後有効に活用されることを望む。



一時堆積場所とした町有地

各委員会の 閉会中調査

各常任委員会及び議会運営委員会が十二月定例議会までの閉会中に、次の事を調査します。

◆総務経済常任委員会

- 1、町有財産の管理について
- 2、間歇泉公園の入り込み状況及び周辺の環境について

- 3、出来瀬漁港の利用状況について

◆民生文教常任委員会

- 1、デイサービスセンターの状況について
- 2、介護保険について

◆議会運営委員会

- 1、次期議会の会期日程など議会運営に関する事
- 2、議長の諮問に関する事項について

意見書の提出

議員提案により、次の意見書を可決し、関係省庁へ提出しました。

道路特定財源等に関する意見書

広域分散型社会で形成している北海道において、道路は豊かな道民生活の実現と活力ある経済、社会活動を支えるうえで最も基本的な施設であり、その整備は全道民が等しく熱望するところである。しかしながら、自動車交通への依存度が高い本道における道路整備は、着実に行われているものの、全国に比べ著しく立ち遅れており、特に北海道は高速基盤の必要性が他地域より高いことから高規格幹線道路の整備が最重要の課題となっている。今後、道路特定財源制度を根幹とした新道路整備計画五箇年計画に基づき、活力ある地域づくり、まちづくりを支援し、経済・社会活動の活性化、良好な生活環境の創造、安全で安心できる国土の実現を図るため、道路網の整備は、あらゆる観点から中長期的な視点に立って計画的に推進することが重要である。

ついては、大動脈となる高規格幹線道路から住民に最も密着した市町村道に至る道路網の総合的・体系的な整備を推進していく上で、受益者負担、原因者負担の基本理念に基づく道路特定財源制度を堅持するとともに、道路整備財源を一層充実強化することが緊要である。

そのため、次の事項について特段の配慮がなされるよう強く要望する。

記

1. 新道路整備五箇年計画に基づき、円滑に道路整備を推進していくため、引き続き道路特定財源制度及び道路整備特別会計制度を堅持するとともに、一般財源を大幅に投入し、道路整備財源を一層充実強化すること。
2. 活力ある地域づくり・まちづくりを推進するため、市町村道から高規格幹線道路に至る道路網の整備を一層促進すること。
3. 渋滞対策、交通安全対策、防災対策等、安全で快適な生活環境づくりを推進するための道路整備を一層促進すること。
4. 積雪寒冷地域である本道の冬期交通の安全を確保するため、新積雪寒冷特別地域道路交通確保5箇年計画を一層推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

（提出先） 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、大蔵大臣、建設大臣、自治大臣、北海道開発庁長官

議会のつづき

7月

8月

9月

29日 交通安全住民大会（議長・議員出席）

1日 遠別町議会産業委員会視察

5日 全道身体障害者ゲートボール大会（鹿中グラウンド・議長出席）

16日 成人式（議長・議員出席）

17日 海難犠牲者慰霊祭並びに魚族供養祭（議長出席）

21日 渡島檜山町村議会議長会連絡協議会（函館市議長出席）

22日 議会広報研修会（札幌市・委員出席）

23日 監査委員より平成十二年度七月分出納検査報告書受領

24日 全道漁港大会（八雲町議長・議員出席）

29日 民生文教常任委員会所管事務調査

27日 下北郡、東津軽郡、渡島町村議会連絡協議会（議長出席）

25日 監査委員より平成十二年度六月分出納検査報告書受領

18日 渡島総合開発期成会札幌要望（議長出席）

14日 総務経済常任委員会所管事務調査

12日 第四回臨時議会

6日 特別委員会

3日 第四回議会だより編集局長会議（議長・局長出席）

2日 渡島地方消防総合訓練大会（鹿中グラウンド・議長出席）



茅部郡下三町議会議員研修会



茅部郡下三町議会議員研修会

十月十三日、茅部郡下三町（南茅部町議会、砂原町議会、鹿部町議会）主催による議会議員研修会が、函館市花びしホテルにおいて開催されました。講師に函館新都市病院院長であります伊藤丈雄氏を招き、死亡率第三位といわれている「脳卒中」等についての講演をいただきました。

日々の議員活動も健康であるからこそ出来ることでありますので、興味を持ち、熱心に耳を傾けました。

編集後記

秋風が身に染みるこの頃です。議会だより発行も早三回目を迎え、委員一同心新たにしてい取り組んでおります。議会においては、福祉施策の強化、住民生活の活性化等を含め教育の充実、住民生活に直結した問題が山積されており、それを支える財政の健全化が急務であります。又、地方分権の推進に伴い、地域住民と密着した行政に取り組んで行きたいと考えております。今後とも、町民皆様の意見に耳を傾けて、より良い議会だよりを発行して行きたいと考えますので、御愛読の程をお願い致します。末尾になりますが、町民皆様の御健勝を御祈念申し上げます。

◎議会だより編集特別委員会

委員長 野田重毅
副委員長 川村清
委員 笠原賢
委員 大沢喜代治
委員 伊藤辰男